

みんなの夢をかたちにするコンセプト

小田急線あと地を考えるシャレットワークショップ2
～ 2.2kmの連続した公共空間のデザインを考える～

コンセプトダイアグラム Concept Diagram



細胞分裂するように新たな機能が付加していく
Cell Growth(細胞が増えていくように)

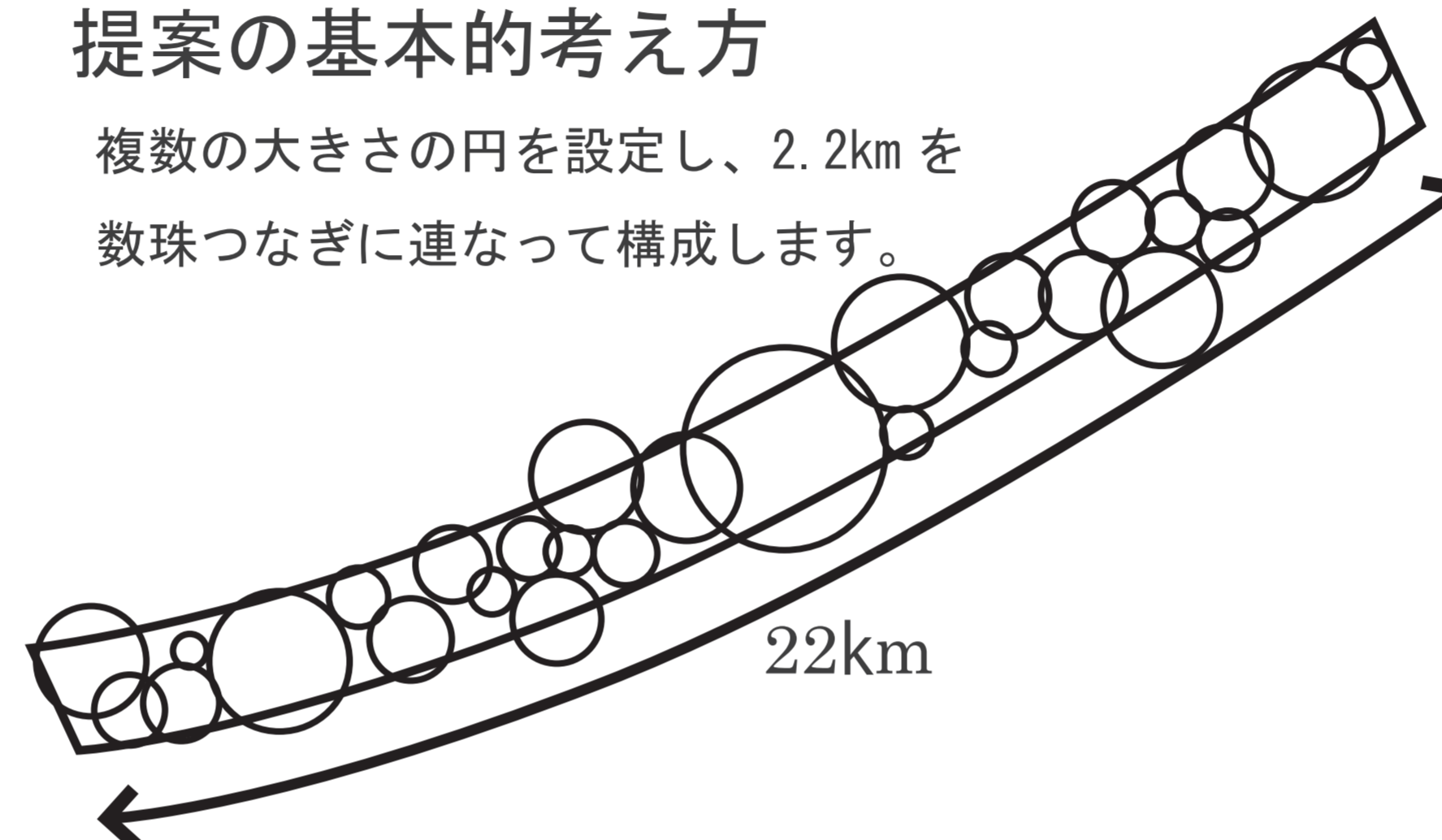
初期は大枠の歩行者動線に囲まれたスペースがあるだけでも、時間の経過とともにそこに集まる人のキャラクターやアイデア、周辺環境の変化などにより、より細かな導線や空間が生まれてくるという考え方を提案します。

多機能公園 HYBRID Park

2.2kmの鉄道跡地にはひとつの決まった機能でなく、それぞれの状況に応じて多種多様な機能をもった公園の整備が望まれます。

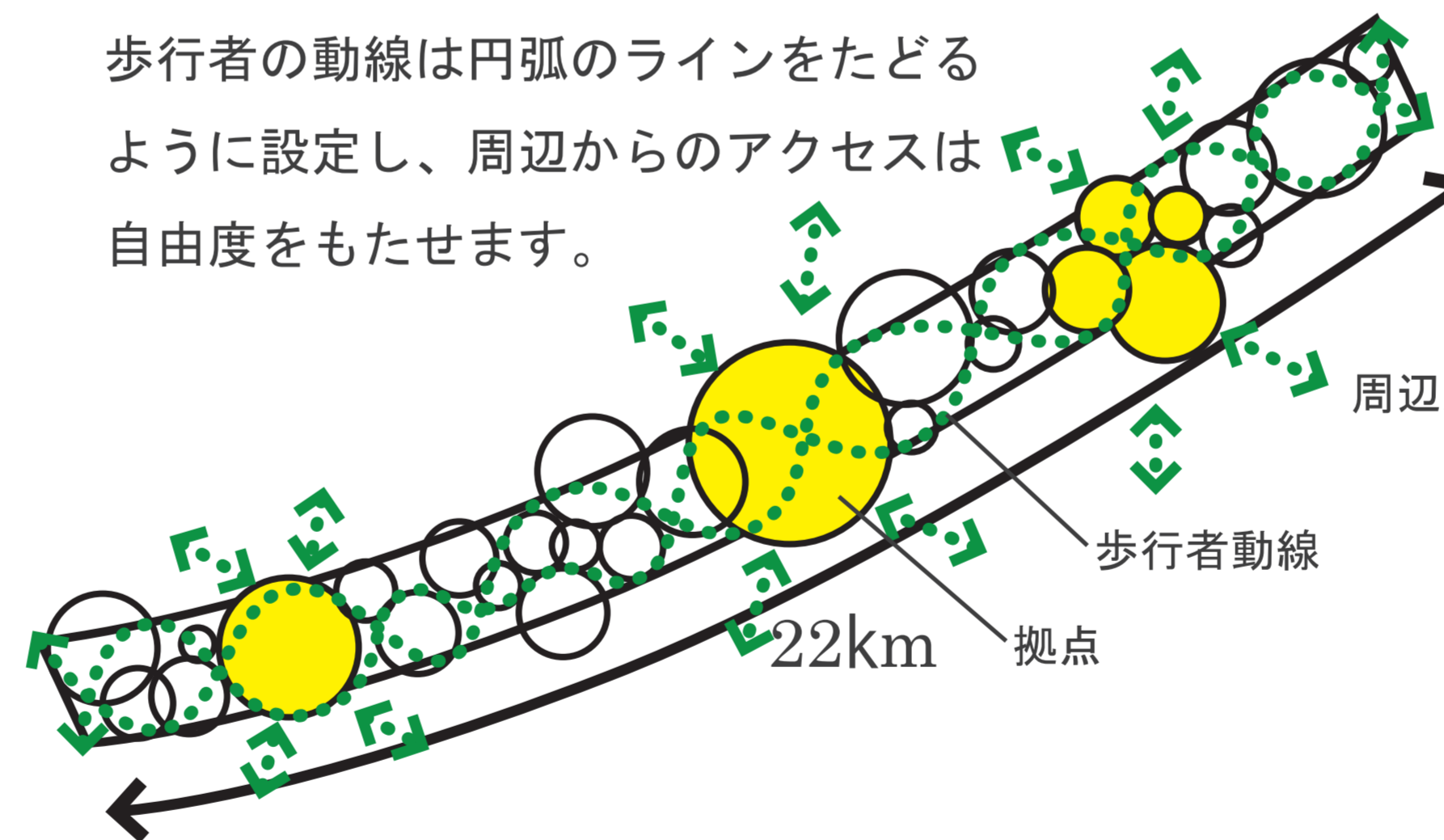
提案の基本的考え方

複数の大きさの円を設定し、2.2kmを数珠つなぎに連なって構成します。



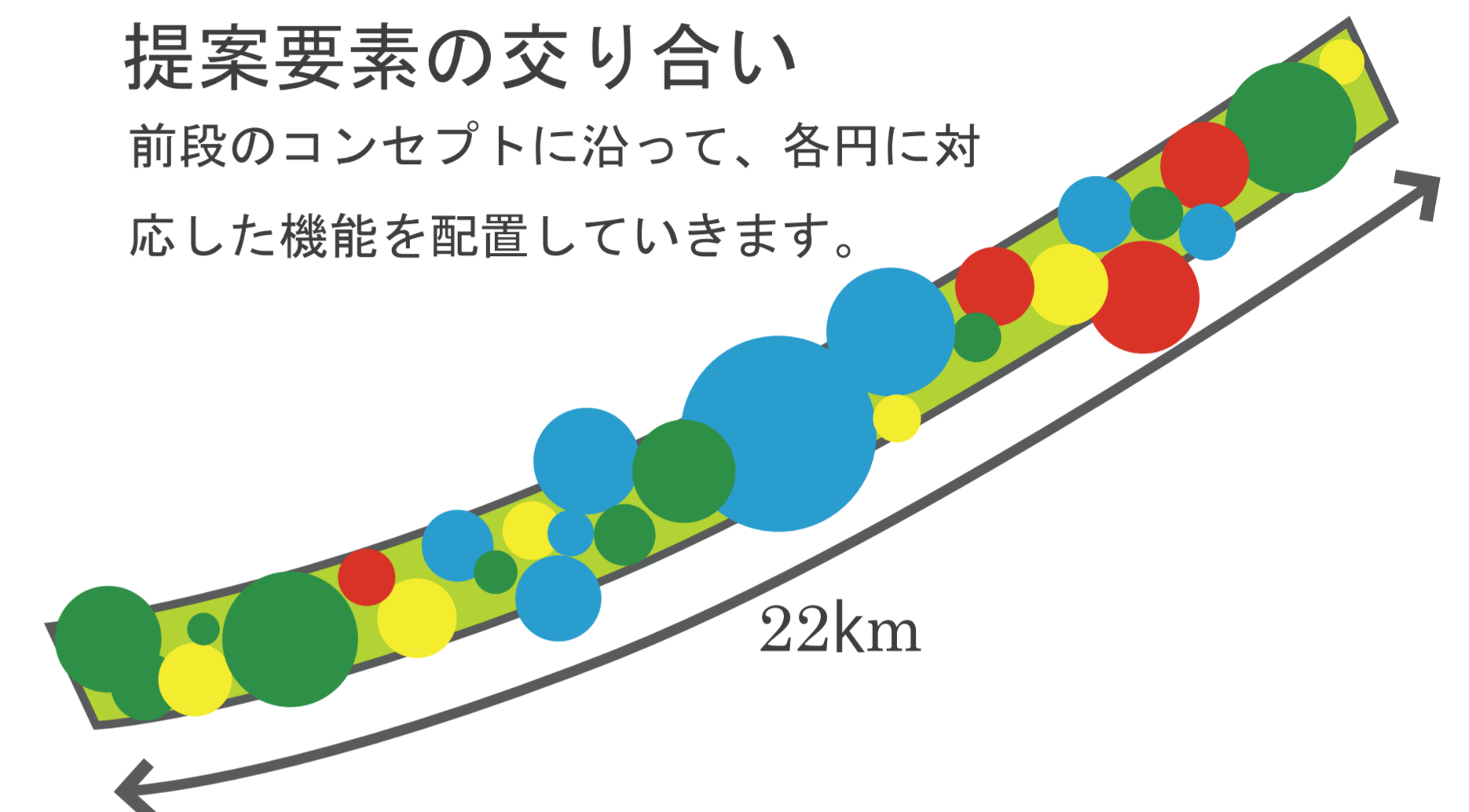
日常の動線

歩行者の動線は円弧のラインをたどるように設定し、周辺からのアクセスは自由度をもたせます。



提案要素の交り合い

前段のコンセプトに沿って、各円に対応した機能を配置していきます。



緊急時の動線

緊急事態には、緊急車両の動線を確保するとともに、拠点となる場所に避難できるようにします。

